

わだの丘

学校だより 第513号 (令和4年1月7日発行)



<http://wada.maizuru.ed.jp>



昨年の総合学習から



新たな時代を生きる 新年の決意



保護者の皆様、地域の皆様には、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本校教育活動の推進にあたり、多大なるご理解とご支援を賜り誠にありがとうございました。年末から年始にかけては寒波の到来で大雪に見舞われ、大変な状況でした。また、コロナウイルスの感染拡大が落ち着いてはいますが、変異種の出現でじわじわと感染者数も増加しており、第6波の到来も懸念されております。そのような中ではありますが、新しい年を迎えることができました。本年もよろしくお願い申し上げます。

本日から三学期が始まりました。新年を迎え、子どもたちはコロナウイルスに決して負けない強い心と周りの人々を思いやる優しい心を身につけるために、新たな気持ちで頑張ろうと決意していることと思います。本校教職員も多くの教育的課題に向き合い、そして、自身の働き方についても意識して取り組みながら、教育目標の実現に向け努めてまいります所存です。

今年の干支は壬寅（みずのえとら）となります。干支と言いますとどうしても「動物」の部分だけが目立ちますが十干（じっかん）と十二支を組み合わせて「干支」になります。十干の「壬（みずのえ）」と十二支の「寅（とら）」で壬寅（みずのえとら）となるわけです。調べてみると「壬寅」は冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるというイメージがあるそうです。コロナ禍であっても元気に冬の季節を乗り越え、春を迎えてほしいと願っております。

さて、昨年末には新語・流行語大賞で大谷翔平選手の「リアル二刀流／ショータイム」が年間大賞を取りましたが、それとは別に「今年の新語2021」というのもあり「今年広まったと感じられる新語」を専門家が選んでいます。ここで選ばれ大賞となったのが「チルい」（落ち着いて気分が良い）という言葉でした。これは英語の「chill out …落ち着く」からきていて、「い」をつけることで形容詞化されて言葉になっているそうです。他国の方々の感想では日本語の習得はなかなか大変だという意見が多いようです。その場の状況を察して言葉を選ぶ日本人のもつ文化や文法的にもそうですし、さらに漢字、ひらがな、カタカナが混在していることが習得の難しさにつながっているようです。しかし、「い」をつけることで簡単に形容詞になってしまうというのも日本語の特徴ではないでしょうか。「チルい」のように、少しほっとするような表現もあれば、残念ながら人を傷つける言葉も簡単に作ることもできます。他の人の立場に立ち、気持ちを考えて適切なコミュニケーションを取る力が、仲間との協働にはとても大切です。互いの長所も短所も認め合えるような人間関係であればトラブルも減るのではないかと思います。前回の学校だよりでもお伝えしましたが、昨年12月に生徒たちは人権学習をしています。3年生は「性の多様性と人権」について学びましたが、LGBTQ「性的マイノリティ」についての理解が全世界でも高まり、取組も進められています。様々な人権問題の課題がある中で、互いに認め合うという心や行動こそが人権問題の解決に向けての根本的な考えとなります。男女の服装についても様々な配慮がされ、服装の選択も男女の枠を取り外すようになってきました。和田中学校の制服については現在、男女それぞれ規定を設けており、この規定で本年度も進めております。もし、制服の着用について不都合なことがございましたら、学校や指定業者にもご相談いただければありがたいです。対応できることについては対応させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

コロナウイルス感染症の出現で今までなかったシステムや新しい生活様式が生まれ、時代が変わろうとしています。コロナの終わりには時間がかかるとは思いますが、時代の変化は並行して進んでいきます。私たち教職員も引き続き「教育改革」と「働き方改革」という相反すると思われる改革を推し進めながら取り組んでいかねばなりません。今まで通り生徒理解に努め、生徒に寄り添い、生徒の意欲を大切にする授業づくりや特別活動ができるよう努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様にとりまして、本年が良き年でありまよう心からお祈りいたしますとともに、本年も本校の教育推進に温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

校長 荒賀 洋 教職員一同